


部の概要			
所属課と人員 (H25.4.1現在)	生活コミュニティ課 環境政策課 ごみ減量課 産業振興課 都市農業推進担当	54人	

部の運営方針

地域の自主的な活動を助長するコミュニティの振興、産業振興、里山・自然環境の保全、生き生き都市農業の推進、清掃事業による市域の美化及び衛生環境の保持などの市民生活の環境を支える施策を一体的に担当します。市民が生き生きと生活し、観光資源の活用により国立市を訪れる人々も含めたにぎわいのある生活ができる環境づくりを助長・支援する組織として、総合的に市民の暮らしを支えます。

また、循環型社会の形成を推進し現在の生活環境を良好に保ち持続可能性を確保していきます。

平成25年度の重点項目				
	項目	具体的内容	達成状況(年度末振り返り)	達成度
1	「自治会連絡会の発足」	地域コミュニティのつながりを強めるため、市内の全自治会に働きかけ、各自治体の主体性を保ちながら意見聴取を十分に言い「自治会連絡会」を発足します。	平成26年2月5日に市内70の自治会に働きかけ「自治会連絡会」を発足し地域コミュニティ相互連携の基礎づくりに努めた。	A
2	商店街活性化事業	イベントによる商店街の活性化及び観光資源の活用も含め市のイメージアップを図ります。また、新たな取り組みとして商店会・住民・アドバイザーと協働し対策の検討を行い商店街活性化事業を展開します。	交付金を活用し商店街のイベントを創出した。また、新たにミュージックフェアを開催した。中小企業等振興会議を活用し、商店街の活性化計画を策定し活性化に努めた。観光資源の活用のため観光まちづくり協会と連携しフィルムコミッションを立ち上げた。	A
3	生き生き都市農業推進事業	用水等の改修、農の駅の実施設計、ファーマーズマーケット等イベントの開催及び農のポータルサイトを充実するなど「作る、売る、食べる」などを通して、喜びが感じられる生き生きとした都市農業の実現を図ります。	農の駅を「城山さとのいえ」と命名し、実施設計を完了した。国立野菜フェアや国立マルシェ、K椀グランプリを開催した。ポータルサイト・くにたちあぐりっぼを展開し国立の農を広く発信した。	A
4	城山の里山づくり	(仮)里人会議を設置し、「城山の里山づくり基本方針」に基づき、「ビッグピオトーブ」をイメージした里山づくりを進め、庁内各課の各種事業を総合的に展開していきます。また、城山池の復活に向けての実施設計を行います。	平成26年1月28日「里人会議」を設置し、里山づくりを進め各種事業を総合的に展開した。城山池復活のための実施設計を完了した。	A
5	販売店回収の促進	循環計画の27年度末目標である可燃ごみ20%削減を実現するため、平成25年度は5%以上の削減を目標とします。EPRを柱とした循環型社会の形成推進のため有効な施策として、市民による資源物の販売店返却を進めます。事業者に対しては、容器包装等の自主回収を求めていきます。	紙ごみ分別キャンペーン・生ごみ水切り運動などを展開したが、平成25年度のごみの量は1%程度の微増傾向であった。紙ごみ分別・水切り・資源物の販売店返却を進めるため自治会等に積極的に出前説明会を行った。大規模事業者に対してごみの減量指導を行った。	B